

# 分科会評価報告書（平成28年度決算）

（文教厚生分科会 No.2）

事業名	（教育指導課，5305） 師範塾関係費 <span style="float: right;">※P645</span>			
評価	2	1 拡充 4 縮小	② 継続 5 休止	3 改善 6 廃止
<p><b>【必要性】</b>                  &lt;目的の妥当性，行政が行う必要性&gt;                  多様化する教育ニーズに市内小中学校において，共通した高いレベルで対応するために教員研修の重要性は増してきている。多種多様な講座を開講し，教育に関わる専門家などを養成することで学力向上の環境を作っている。教員研修の機会を設けることで，教員の資質向上にも寄与している。</p> <p><b>【効率性】</b>                  &lt;効果と費用等との関係&gt;                  教師の資質向上と授業改善に取り組んだ結果，平成28年度実施の「全国学力・学習状況調査結果」において，平成19年度の開始以来，初めて小中学校ともに全国平均・茨城県の平均を上回る結果を残した。また，受講した教職員へのアンケートでは，満足との回答を得ている。</p> <p><b>【有効性】</b>                  &lt;得ようとする効果と得られている効果との関係&gt;                  市内の教職員の資質向上を図るとともに，心的負担軽減の役割も担っている。職場の悩み相談も随時行っている。現在，鹿嶋市において，離職休職した教職員はいない。</p> <p><b>【評価説明】</b>                  教育センターに配置される教育指導員が中心となり，教職員・教育関係者・保護者などを対象とした講座を実施し，教職員の専門職としての技能向上及び保護者の教育力向上に寄与し，一定の成果を上げている。しかし，参加人数の少ない講座も見受けられ，内容の検討や市民の皆様へのお知らせの工夫も必要だとの意見もあった。教職員が，悩みなどを相談しやすい環境作りの一翼を担っている。                  以上のことから，分科会としては「継続」と評価する。</p>				